

## 委員会の政策提言に係る委員意見について

H30. 3. 9

重点調査項目	主担当部局	委員意見 (H29. 12. 11)
ダイバーシティ社会の推進について	環境生活部	○ダイバーシティの言葉を県民もまだまだ理解していないところもあるので、推進にあたっては、もう少し <u>認知と理解にウエート</u> を置くようにしたらどうか。(廣副委員長)
		○ダイバーシティという片仮名言葉が難しい。例えば <u>多様性の尊重や多様な社会へ</u> ということで浸透を図り、 <u>それでダイバーシティという施策がある</u> というふうに考えてもいいのでないか。(村林委員)
		○ダイバーシティの趣旨、根本的なところの県民への <u>周知、徹底</u> には時間がかかるのでないか。(岡野委員)
		○ダイバーシティの推進にあたり、寛容さだけでなく、善意、寛容さが <u>逆用、悪用された場合の備え</u> も考えておく必要があるのでないか。(村林委員<所管事項>)
		○多様性ということで、何でも混ぜてしまうのではなく、 <u>個々を尊重</u> する部分も大事である。 (村林委員<所管事項>)
		○ダイバーシティとは、 <u>一人ひとりを大事にする</u> という観点を大事にしてほしい。(岡野委員)

## 【その他意見】

○ダイバーシティを推進するのはどうしたらいいのかを当局から説明を受けながら議論したらどうか。(館委員)

重点調査項目	主担当部局	委員意見 (H29. 12. 13)
もうかる農林水産業と獣害対策について	農林水産部	○もうかる農林水産業は手段であり、 <u>持続可能性</u> や定住を目的として、それに向けた集約や大規模化といった施策を進めていただきたい。(村林委員)
		○農林水産業について、もうかるために何をしてもいいというのではなく、 <u>持続可能</u> なということは一番大事だと思われる。(津村委員)
		○ <u>持続可能</u> な農業をどうするかということがポイントと考える。(岡野委員)
		○農業は <u>持続可能</u> が大切で、経営ばかり追うとお金もうけばかりいって、後継者育成や農地の荒れ放題をつくるようなところも出てくるのでないか。(野村委員)

重点調査項目	主担当部局	委員意見 (H29.12.13)
		<p>○<u>持続可能</u>や<u>後継者育成</u>について、<u>水産業のほうにも力をいれてほしい</u>。(野村委員)</p> <p>○<u>水産業</u>については<u>持続可能な資源管理</u>が大事なので、もうかる農林水産業のなかにあっても、個別で考えていく必要がある。(津村委員)</p> <p>○資源管理が価格につながるのが理想であり、<u>資源管理をすればもうかる</u>ということになれば資源管理もできないように思われる。(村林委員)</p> <p>○就農してもらうために、これからの農林水産業には<u>イメージ戦略</u>や<u>広報</u>が必要でないか。(村林委員)</p> <p>○これからの農業は、<u>地域経営</u>の部分が非常に大きなウェートを占めてくると思われることから、みえ農業版MBA養成塾等の方向を見極めたい。(村林委員)</p> <p>○よい農林水産業を目指す運動など<u>中長期的に農林水産業の底上げの機運を盛り上げる</u>ことで、GAP等認証制度をチャンスが来たときに誰でも取ることができる状況にすることが大事でないか。(村林委員)</p> <p>○みえジビエの振興について、ペットフードも含めた利活用が一緒になっているので、<u>利活用について分けて整理</u>したほうが、指標等の達成度合にも正しく反映されるのでないか。(村林委員)</p>
県産農林水産物の戦略的販路拡大について	農林水産部	【特に意見なし】

【その他意見】

- もうかる農林水産業だからだめということではなく、その中の内容が中心である。提言にあたっては、問題を指摘する必要があると思われる。(舘委員)